

元総社地区

# 地域づくり協議会だより

第8号 2018年(平成30年)3月発行

発行：会長 阿部 明雄  
編集：広報委員会  
事務局：元総社公民館  
電話：251-2243

「活力あふれる元総社」

地域づくり協議会  
会長 阿部明雄



本年度の地域づくり協議会の活動も、七十二名の協議会の皆さんを中心として、多くの方々のご協力をいただきました。計画事業を盛大に実施することができました。

これもひとえに、関係の方々のご指導とご協力のたまものと厚くお礼を申し上げます。本年度は、事業内容の見直しに合わせ、各部会の名称の変更もおこないました。新部会名は、

- (一) 歴史伝統部会
- (二) 安全安心部会
- (三) 福祉・交流部会

として事業内容を分かりやすく簡潔に表現いたしました。

また、事業内容の見直しでは、郷土伝統芸能の保存と紹介、元総社の昔の写真の収集と展示、上野国分寺まつり参加の取り組み、地域の安全安心の見守り事業など、新たな事業の取り組みを行いました。具体的内容は、各部会の報告でさせていただきます。

新年度も、今までの地域づくり事業のさらなる充実と新たな事業の力強い推進によって、「明るく元気、住んで楽しい元総社」の活力をさらに高めてまいりましょう。

前列右から

- 設楽正治(副会長・広報委員長)
  - 高橋正雄(参与・福祉副部会長)
  - 村木 健(監査・歴史副部会長)
  - 阿部明雄(会長)
  - 宮田正憲(副会長・広報委員)
  - 高津二三夫(参与・歴史部会長)
  - 小鮎文明(監査・安全部会長)
- 後列右から
- 金井光明(書記会計・歴史副部会長)

- 伊藤信雄(参与・安全副部会長)
- 近藤輝久(参与・広報委員)
- 津田正壽(参与・安全副部会長)
- 女屋勝男(参与・福祉部会長)
- 深町 哲(参与・福祉副部会長)



前橋市元総社公民館

協会  
1月



## 歴史伝統部会

部会長 高津二三夫

当部会は、各地域から選出された二十名の企画運営委員で活動をしてきました。

五月二十五日十九時から開催された地域づくり協議会総会后直ちに行われた第一回部会で次の事業計画を決定し、活動することと致しました。

### ◇平成二十九年事業計画

一、伝統芸能の保存と紹介・支援 (新規)

二、昔の地区写真の提供を依頼し、展示と保存を図る (新規)

三、発掘現場、出土土器などの見学会 (新規)

四、上野国分寺まつりへの参加 (新規)

五、元総社郷土かるたの内容を生かしたイベント (ウォークラリー) の実施

六、第九回元総社郷土かるた大会の開催

### ★平成二十九年事業報告

○伝統芸能の保存と紹介・支援

総社神社太々神楽保存会  
元総社上宿町獅子舞保存会

大友百万遍保存会

※地区文化祭(十月二十八・二十九日)で紹介。非常に評判が良かった。

### ○昔の地区写真

地区内の皆さんに古い写真の提供をお願いしたところ、八人の方から八十六件の提供があり、記録・保存することが出来た。また、印刷したものを公民館で展示した。

※昔の写真に多くの人が興味を抱かれた。

### ○遺跡発掘現場の見学会

地区内の見学会に適した遺跡や発掘現場の調整が出来ず、また、出土品の収蔵施設と開催日程が合わず実施を断念した。

### ○上野国分寺まつりへの参加

十月二十二日の開催に大きな期待をもって実行委員会等に臨んだが、あいにく台風五号の上陸、接近によりまつりの開催が中止となった。

○郷土かるたを巡るウォークラリー

開催日 十一月十九日(日)

参加者 二十九名

行程 公民館↓総社神社↓

徳蔵寺↓釈迦尊寺↓推定旧東山

道を経由↓稲掛けの橋↓みろく公園↓旧三国街道を経由↓御霊神社↓千庚申↓宮鍋様

解説 都木周彌さん

※九時から十一時四十五分、三時間のウォークラリーでした。

○第九回元総社郷土かるた大会

開催日 平成三十年二月四日(日)

参加者 二十二チーム  
九十九名(選手、役員、引率者)



成績

優勝 一区 Cチーム

準優勝 二区明神チーム

第三位 大友町Bチーム

第三位 問屋町Aチーム

### ○その他

①かんぼう元総社連載の「かるたから知る元総社」は二月十五日付け館報で第十七号になりました。

②十月二十八日(土)開催の元総社地区文化祭では、昨年に続いて「歴史教室く勾玉づくり」を担当しました。

### ◇平成三十年事業計画

一、伝統芸能の保存と支援

二、昔の地区写真の募集と展示

三、上野国分寺まつりへの参加

四、元総社郷土かるたを巡るウォークラリーの実施

五、元総社郷土かるた大会の実施

などを計画しています。

新年度も各種事業への皆様の積極的なご参加をお願いいたします。



## 安全安心部会

部会長 小鮎文明

### ◇平成二十九年事業方針

安全安心な暮らしづくりに特化した事業を展開し充実を図る。元総社地区合同防災訓練の実施や各地区の防災事業を支援し、防災知識と技術を身に付けて頂き、地域住民の防災意識の向上を目指します。

### ◇平成二十九年事業報告

#### 一、避難所について学ぶ

実施日 七月二十日(木)

目的 部会員の避難所に対する知識の向上を目指す。

講師 危機管理室 六名



大規模災害の発生時に開設さ

れる避難所は、自治会等が避難者と協力をして運営することが必要です。

カードゲーム等で分かりやすく学び、模擬体験が出来ました。

#### 二、合同防災訓練

実施日 十一月二十六日(日)

#### 訓練内容

避難経路の状況確認、応急手当、応急担架設置と搬送訓練、心肺蘇生、避難所開設運営、炊き出し、防災グッズ、放水訓練  
参加人員 百九十八名



#### 訓練協力団体

危機管理室、西消防署、消防団第五分団、女性防火クラブ、ボランティア連絡会及び各自治

会から十人以上の参加を頂き、各地区混成グループが四班に分かれて、訓練を行いました。

避難所の開設と運営に重点を置き、被害状況収集カードを四自治会に作成して頂き、各町の被害状況の把握に努めました。防災用ストープを活用しました。



#### 三、安全安心な暮らしを守る講習会等の支援事業(一自治会あたり交付金一万円)

- 一区、防災訓練
- 二区、防災訓練
- 三区、防災研修会
- 五区、防災訓練
- 六区、防災講習会
- 七区、避難訓練等講習会
- 八区、防犯・交通講習会

十区、応急手当訓練

十一区東、避難・防災訓練

十一区西、防犯と交通講習会

問屋、防災講習会

#### 四、青色パトロールの助成

元総社地区の犯罪の抑止力になっており、地域づくりの治安維持に貢献しています。

#### 五、その他

防犯ソングCDの配布・かんぼう元総社の活用、防犯グッズの普及、AEDの設置箇所、防災協力事業所へ協力呼びかけ等を行いました。

### ◇平成三十年事業計画

#### 一、元総社地区防災訓練

二、安全安心な講習会等の支援事業

#### 三、リーダー研修会

四、青色パトロール等への助成

#### 五、その他

かんぼう元総社の活用、防犯グッズの普及、AEDマップ、住警器の設置促進、防災協力事業所との更なる連携協力、回覧板へ「防犯パトロール中」文字の掲載等を行います。

皆様のご参加、ご協力をよろしく願います。



## 福祉・交流部会

部長 女屋 勝男

平成二十九年五月二十五日、元総社市民サービスセンターにおいて、地域づくり協議会総会及び「福祉・交流部会」が開催され、今年度の事業計画が次のように決定いたしました。

### ◇平成二十九年度事業計画

一 第三回三世代スマイルボウリング大会の開催

七月九日(日)

二 在宅高齢者ふれあい交流事業の支援と実績報告会等の開催

### 三 見守り活動への支援(新規)

地域・自治会が更に高齢者の見守り活動を充実させるために取り組む事業で、市社会福祉協議会の補助決定となった高齢者の見守り事業に対し支援をする。

### ◇平成二十九年度事業報告

一 第三回三世代スマイルボウリング大会

開催日 七月九日(日)

場所 元総社小学校

チーム編成 小学三年生く六

年生二名、中学生く五九歳

一名、六〇歳以上二名

参加チーム 二十九チーム

成績

優勝 勝三区Cチーム

準優勝 一区Bチーム

第三位 八区Aチーム

ストライク賞 五人



この大会は、昨年に引き続き三回目で、参加チーム数も昨年と同じで、盛大に行われました。

時期的に非常に暑い時でしたが、窓を開けるなどして風を呼び込み、やや涼しい中で応援の声、歓声、響き熱中症もなく、大いに楽しんでいただきました。

普通のボウリングとは違いゲ

ートを通す技が要求されます。

皆さん、経験豊富で素晴らしかったです。今回も体育推進委員会、福祉・交流部員、サービスセンター職員の皆様には、沢山のご協力を頂きました。ありがとうございます。

二 在宅高齢者ふれあい交流事業の支援と実績報告会等

### ○実績報告会

二月半ば現在では、全ての事業が完了しておらず、事業が完了した時点で報告書を提示して頂き、意見交換等をして実績を確認し、次年度に反映することとします。

### ○高齢者見守り活動事業合同会議

議

開催日 平成二十九年七月二十四日(月)

会場 元総社市民サービスセンター

参加者 自治会長、民生児童委員、保健推進員、福祉・交流部員

講師 危機管理室

市社会福祉協議会

地域包括支援センター

災害時の避難支援と

テーマ

日頃の見守り活動について

合同会議の中で高齢者を支え合う、日頃の見守りなど従来の見守り活動に加えてちよっとした見守り活動が、新たに見えてきた課題であり、不可欠なことであることが、理解出来たと思われま

### ◇平成三十年度事業計画

一 第四回三世代スマイルボウリング大会の開催

七月一日(日)予定

二 在宅高齢者ふれあい交流事業等

内容の充実のため、研修会などを行い、多方面から情報を習得して、意見の交換を行い、地域の発展に寄与したいと考えます。

各自治会の三世代交流の訪問、会食会、三世代交流の軽スポーツ大会、地域それぞれの交流事業の発表を行い、意見交換の中、交流事業が、より充実するように働きかけて行きたいと考えます。

新年度も皆様の参加とご指導、ご協力をお願い申し上げます。